

□主な内容

【2025 年度エコドライブ活動コンクールの参加募集がスタート！】

エコモ財団は、「2025 年度エコドライブ活動コンクール」の参加申し込みを開始しました。応募締切は 7 月 8 日までです。

2011 年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催しており、優れた取り組みを行う事業者を表彰し、その取り組み内容を紹介することでエコドライブの更なる普及や運輸事業部門の脱炭素化を図っています。

<https://www.ecodrive-activity-concours.jp/news/>

【モビリティの未来に関する日本人の意識調査の結果が公表されています】

3M は、「3M 2025 State of Science Insights(ステート・オブ・サイエンス・インサイト)」の調査を世界 10 か国で実施し、「モビリティの未来」に関する日本人の意識調査の結果を公表しました。

<https://news.3mcompany.jp/20250516S>

□目次

1. 寄稿「地方から全国に向けた情報発信！」(第 220 回)

●EV を使った住民主体による地域内移動サービスの全市展開

【備前市企画財政部 榮研二】

2. ニュース／トピックス

●「令和6年度補正予算 商用車等の電動化促進事業(タクシー、バス)」の公募について

【国土交通省、環境省、経済産業省】

●「地域連携モーダルシフト等促進事業」(補助事業)の募集開始 ～地域連携したモーダルシフトや共同輸配送等の先進的取り組みを支援します～【国土交通省】

●「モーダルシフト加速化事業費補助金」の募集開始について【国土交通省】

●自動運転トラックの社会実装及び物流の効率化を推進 ～「自動運転トラックによる幹線輸送の社会実装に向けた実証事業」を公募～【国土交通省】

●令和7年度「物流脱炭素化促進事業」(補助事業)の募集開始 ～物流施設等における水素・再エネ利用関連設備の導入を支援します～【国土交通省】

●2025 年度エコドライブ活動コンクールの参加募集がスタートしました！【エコモ財団】

- 常磐線浜通りサイクルトレイン」の実証実験を行います！【JR 東日本】
- JR 花輪線サイクルトレイン実証実験 2025 を実施します【花輪線利用促進協議会】
- 湯けむりライドシェア GLOBAL 実証運行開始【別府市】
- 「高齢者の外出支援」の実証実験を支援 リアルタイム位置情報と移動履歴の通知で支える、高齢者の安全な移動【芳賀町、コクヨ、オートテックジャパン】
- EV を活用して脱炭素化と防災力強化に向けて連携【周防大島町、日産、山口日産】
- EV を活用した脱炭素化と強靱化に向けて共創【宇治市、ニチコン、日産、京都日産】
- 京都府民の暮らしが“脱炭素資産”に変わる ～脱炭素を日々の選択に。京都が紡ぐまちぐるみの未来～【スタジオスポビー】
- 脱炭素社会の実現に向けたサービスの共同検討の覚書を締結、EV オンデマンドバスの実証プロジェクトを開始 ～EV を「走る蓄電池」として活用、MaaS・エネルギーマネジメントの実効性を検証～【レジル、Moplus、スぺア・テクノロジーソリューションズ、みつばモビリティ、CNHD】
- 『7NOW』の屋外配送開始 ～信号や横断歩道も自動認識でスムーズにお届け～【LOMBY、セブン-イレブン・ジャパン、スズキ】
- 化学品の自動運転トラックによる幹線輸送を実証 ～カーボンニュートラル燃料を用いた環境配慮型輸送にトライ～【住友化学、住化ロジスティクス、T2】
- 業務提携契約を締結【南海電鉄、TRC】
- モビリティの未来に関する日本人の意識調査 ～日本人の半数以上の成人がハイブリッド車や電気自動車に関心を持っているが、価格が一番の懸念に～【3M、Morning Consult 社】

3. イベント情報

- グリーン経営認証取得講習会【2025/5/29-30】
- よこすか YY のりものフェスタ 2025【2025/5/31-6/1】
- 西武・電車フェスタ 2025 in 武蔵丘車両検修場【2025/6/7】
- グリーン経営認証取得講習会【2025/6/19】

4. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿「地方から全国に向けた情報発信！」(第 220 回)

●EV を使った住民主体による地域内移動サービスの全市展開

【備前市企画財政部 榮研二】

2015 年 8 月、備前市内でも高齢化の進行が著しい備前市鶴海地区で「NPO 法人スマイル・つるみ」が誕生しました。暮らしの中の困りごとを住民同士の支え合いで解決する仕組みで草刈りや墓掃除、家事援助などのサービスを提供するほか、地域住民の交流の場づくりとして毎月 1 回の「コーヒーサロン」と「ワンコイン酒場」の開催が主な活動です。地区を走る民間路線バスの撤退が NPO 法人発足のそもそものきっかけであったことや、自宅から程近い商店やクリニックへの送迎のニーズがあったことなどから、2018 年に国土交通省が実施したグリーンスローモビリティ実証調査を経て 2020 年 10 月、NPO 法人スマイル・つるみが公共交通空白地有償運送の許可を受けて地域内の移送サービスを開始しました。車両は 2 年前の実証に基づいて地球環境と高齢者の生活リズムにやさしいグリーンスローモビリティを備前市が環境省の補助金を活用して購入、NPO 法人スマイル・つるみに無償貸与することとしました。最高時速 19 km、ドアなしなどの車両特性がタクシー事業と一線を画し、必然的に「枝線」の役割を果たしました。その後、市は運行主体に対する補助制度を創設して NPO 法人スマイル・つるみの活動を支援しましたが、運転者の高齢化や後継者不足等の事情により、2023 年 9 月に運行終了、以後は任意団体として「コーヒーサロン」「ワンコイン酒場」の活動を現在まで続けています。

一方、市では「地球環境への配慮」「住民主体による地域内輸送」のマインドを引き継ぐ形で 2023 年 4 月から EV10 台による「デマンド型乗合タクシー」のサービスを市内全 10 地区で開始しました。車両はフォルクスワーゲン ID.4Lite を採用し、デザインを工業デザイナーの水戸岡鋭治氏に依頼してブランディングを図っています。車両性能の違いから先行のグリーンスローモビリティに比べて移動範囲は広がったものの、タクシーとの競合を避けるために目的地を限定、前日までの予約とするなど運行形態を工夫しています。原則自宅のある小学校区（2024 年 12 月から居住小学校区と市が指定する隣接の 2 小学校区に拡大）にある商店、医療機関、駅、バス停などの拠点を結ぶ「枝線」としての位置付けは前身と変わっていません。運賃は一人一乗車 200 円で、現在はマイナンバーカードを提示することで市営バス、デマンド型タクシーともに無料としており、地域公共交通の利用促進と環境負荷低減の両立を目指しています。



2. ニュース／トピックス

●「令和6年度補正予算 商用車等の電動化促進事業（タクシー、バス）」の公募について【環境省、国土交通省、経済産業省】

環境省、国土交通省、経済産業省は、令和6年度補正予算「商用車等の電動化促進事業」のうち、タクシー、バスについて、補助金の交付申請の公募を開始しました。公募期間は、2026年1月9日までです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07_hh_000531.html

●「地域連携モーダルシフト等促進事業」（補助事業）の募集開始 ～地域連携したモーダルシフトや共同輸配送等の先進的取組みを支援します～【国土交通省】

国土交通省は、モーダルシフトや共同輸配送等の強力な推進を図る「地域連携モーダルシフト等促進事業」の募集を開始しました。

本事業では、地域の産業振興等を担う地方公共団体や産業団体・経済団体、荷主、物流事業者等によって構成される協議会等が、地域の産業振興等と連携した先進的な取組みを行う際の検討に必要な調査・分析に係る費用や物流の効率化と持続的成長に向けてモーダルシフト等を強力に促進するための物流拠点の整備や設備・機器の導入、実証運行等に要する経費に補助金を交付します。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000881.html

●「モーダルシフト加速化事業費補助金」の募集開始について【国土交通省】

国土交通省は、荷主企業及び貨物運送事業者等の物流に係る関係者によって構成される協議会が、コンテナラウンドユース等の先進的なモーダルシフトの取組みを実施する場合に、モーダルシフトの推進に資する機器の導入等を行う実証事業に要する経費の一部を補助する「モーダルシフト加速化事業費補助金」の募集を開始しました。公募期間は、6月12日までです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000879.html

●自動運転トラックの社会実装及び物流の効率化を推進 ～「自動運転トラックによる幹線輸送の社会実装に向けた実証事業」を公募～【国土交通省】

国土交通省は、トラックドライバーの担い手不足の解消や物流効率化を進めるため、自動運転トラックを活用した幹線輸送サービスの自動化による物流の効率向上効果を検証し、自動運転物流の社会実装の推進を目的とした実証事業の公募を開始しました。公募期間は、6月20日までです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000889.html

●令和7年度「物流脱炭素化促進事業」(補助事業)の募集開始 ～物流施設等における水素・再エネ利用関連設備の導入を支援します～【国土交通省】

国土交通省は、物流の脱炭素化促進に資する取組を実施するため「物流脱炭素化促進事業」の募集を開始しました。公募期間は、6月12日までです。

本事業では、地域の集配拠点や倉庫、トラックターミナル等の物流施設等において、水素および、大容量蓄電池等を活用した再生可能エネルギー電気の利用に必要な設備や、それらを利用する車両等の導入を行う事業に要する経費の一部を補助することにより、物資の流通に伴う環境への負荷の低減を図ります。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000887.html

●2025年度エコドライブ活動コンクールの参加募集がスタートしました！【エコモ財団】

エコモ財団は、「2025年度エコドライブ活動コンクール」の参加申し込みを開始しました。

エコモ財団は、エコドライブ普及推進協議会の事務局を務めるとともに、独自にエコドライブを普及推進する様々な活動を実施しています。2011年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催しており、優れた取組を行う事業者を表彰し、その取組内容を紹介することでエコドライブの更なる普及や運輸部門の脱炭素化を図っています。

<https://www.ecodrive-activity-concours.jp/news/>

●常磐線浜通りサイクルトレイン」の実証実験を行います！【JR 東日本】

東日本旅客鉄道株式会社は、ふくしまプレデスティネーションキャンペーンに合わせ、自転車をもそのまま列車内に持ち込める「サイクルトレイン」の実証実験を、常磐線いわき駅～原ノ町駅間で行います。実施期間は、5月31日～11月30日です。

https://www.jreast.co.jp/press/2025/mito/20250421_mt01.pdf

●JR 花輪線サイクルトレイン実証実験 2025 を実施します【花輪線利用促進協議会】

花輪線利用促進協議会は、自転車の分解等を行わずに列車内へ持ち込むことができる一般参加者向けのサイクルトレイン実証実験を2024年に引き続き、2025年度は期間とダイヤを拡大して実施しています。実施期間は、10月27日までです。

<https://www.city.hachimantai.lg.jp/soshiki/machi/26695.html>

●湯けむりライドシェア GLOBAL 実証運行開始【別府市】

別府市は、「湯けむりライドシェア GLOBAL」の実証運行を開始しました。急増するインバウンドをはじめとした観光客の移動需要に対応することにより、公共交通の混雑や不足を解消し、地域住民の生活や事業者の経済活動への影響の抑制を目指します。運行期間は、2026年3月31日までです。

https://www.city.beppu.oita.jp/seikatu/bouhan_anzen/koukyou_koutuu/rideshare4.html

●「高齢者の外出支援」の実証実験を支援 リアルタイム位置情報と移動履歴の通知で支える、高齢者の安全な移動【芳賀町、コクヨ、オートテックジャパン】

コクヨ株式会社は、株式会社オートテックジャパンが参画する芳賀町の高齢者を対象とした実証実験を支援します。

芳賀町と宇都宮駅の間には最新の路面電車（ライトライン）が開通しており、交通の利便性は高まっていますが、本実証実験はいわゆる「ラストワンマイル」の交通手段として、パーソナルモビリティで自宅・近隣スポットから商店街・最寄り駅への「高齢者の足」を提供する検証となります。コクヨは、本実証実験に「Hello! Family.」を通じて、利用者のリアルタイムの位置把握、異常時の通知機能、移動履歴の可視化による分析を支援します。

https://www.kokuyo.co.jp/newsroom/news/category_other/20250520cs1.html

●EVを活用して脱炭素化と防災力強化に向けて連携【周防大島町、日産、山口日産】

周防大島町と日産自動車株式会社、山口日産自動車株式会社は、EVを普及させ、脱炭素化を推進し、災害時の非常用電源として活用する「脱炭素化及び強靱化に関する連携協定」を締結しました。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/250513-00-j>

●EVを活用した脱炭素化と強靱化に向けて共創【宇治市、ニチコン、日産、京都日産】

宇治市、ニチコン株式会社、日産自動車株式会社、および京都日産自動車株式会社は、EVやV2H、蓄電システムを普及させ、市内の脱炭素化と強靱化を図ることを目的とした連携協定を締結しました。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/250425-01-j>

●京都府民の暮らしが“脱炭素資産”に変わる ～脱炭素を日々の選択に。京都が紡ぐまちぐるみの未来～【スタジオスポビー】

株式会社スタジオスポビーは、京都府内の事業者の従業員や府民の脱炭素型ライフスタイルの意識醸成と行動変容を促進することを目指すプロジェクト「脱炭素エキデン京都」を実施しています。

本プロジェクトでは、個人の脱炭素行動変容をAIで定量計測し可視化するアプリ「SPOBY」を活用し、行政や企業と連携して利用者は様々な環境アクションを実践し、CO₂排出抑制に取り組めます。徒歩・自転車による移動やマイボトル、コンポストの活用など、日々の脱炭素行動を「SPOBY」で記録することで、行動に応じて“脱炭素ポイント”が貯まります。貯めたポイントは、地元企業などの協賛により提供される商品・サービスと交換可能で、日々の選択が地域の未来につながる“価値ある行動”として可視化・還元される仕組みです。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000131.000031367.html>

●脱炭素社会の実現に向けたサービスの共同検討の覚書を締結、EV オンデマンドバスの実証プロジェクトを開始 ～EV を「走る蓄電池」として活用、MaaS・エネルギーマネジメントの実効性を検証～【レジル、Moplus、スペア・テクノロジーソリューションズ、みつばモビリティ、CNHD】

レジル株式会社と Moplus 株式会社は、脱炭素社会の実現に向け、電動車両を活用したサービスを共同で検討する覚書を締結しました。本覚書に基づき、EV オンデマンドバスの実証プロジェクトを船橋市で開始します。本実証は、EV を分散型エネルギーリソースとして機能する「走る蓄電池」と捉え、レジリエンス強化の実現性やエネルギーマネジメントの実効性、オンデマンドバスによるマンションの利便性向上について検証します。

https://rezil.co.jp/news_release/2887/

●『7NOW』の屋外配送開始 ～信号や横断歩道も自動認識でスムーズにお届け～【LOMBY、セブン-イレブン・ジャパン、スズキ】

LOMBY 株式会社、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、スズキ株式会社は、八王子市の南大沢エリアにて、セブン-イレブンの商品お届けサービス『7NOW』で注文された商品を屋外型自動走行ロボット『LOMBY』で届ける実証実験を開始しました。なお、本実験では配送先地点を指定せず、対象のセブン-イレブン 2 店舗を中心とした南大沢エリア全域の個人宅等まで配送しています。

<https://lomby.jp/2025/05/19/250519-7now/>

●化学品の自動運転トラックによる幹線輸送を実証 ～カーボンニュートラル燃料を用いた環境配慮型輸送にトライ～【住友化学、住化ロジスティクス、T2】

住友化学株式会社と住化ロジスティクス株式会社、株式会社 T2 は、2025 年 7 月より、関東から関西までの高速道路一部区間で自動運転トラックによる幹線輸送の実証を行い、安全な輸送や環境への配慮が求められる化学業界において、サステナブルな物流オペレーションが構築できるかを検証します。

また、CO₂ 排出量の削減を目的に、カーボンニュートラルに資する燃料を使用します。

<https://t2.auto/news/2025/0508.pdf>

●業務提携契約を締結【南海電鉄、TRC】

南海電気鉄道株式会社と株式会社東京流通センターは、自動運転トラック等をはじめとする次世代モビリティや貨物鉄道輸送との連携を活用した東京－大阪間の幹線輸送経路構築や、その他物流効率化に資する各種取組みに向けて業務提携を行うことで合意しました。

<https://www.nankai.co.jp/news/250430.html>

●モビリティの未来に関する日本人の意識調査 ～日本人の半数以上の成人がハイブリッド車や電気自動車に関心を持っているが、価格が一番の懸念に～【3M、Morning Consult 社】

3M は、Morning Consult 社と提携して、モビリティ、仕事、安全、エネルギーの分野で独自の調査「3M 2025 State of Science Insights(ステート・オブ・サイエンス・インサイト)」を世界 10 か国で実施し、「モビリティの未来」に関する日本人の意識調査の結果を明らかにしました。

調査結果によると、日本人の約半数がガソリンまたはディーゼルエンジンの車を所有する一方、ハイブリッド車や EV を運転したいと考えていることがわかりました。また、日本人が新しい車を検討する際に重要視するのは、コスト、燃費効率、安全性、エネルギーアクセスなどであり、EV を使用することに対しては「自動車の価格」が一番の懸念として挙がっています。

<https://news.3mcompany.jp/20250516S>

3. イベント情報

●グリーン経営認証取得講習会(全事業者)

日時:【トラック・バス・タクシー】2025 年 5 月 29 日(木)13:30~15:30(受付:13:00)

【海事等】2025 年 5 月 30 日(金)10:00~12:00(受付:09:30)

場所:神戸第2地方合同庁舎 第1共用会議室

主催:国土交通省近畿運輸局、エコモ財団

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000348839.pdf>

●よこすか YY のりものフェスタ 2025

日時:2025 年 5 月 31 日(土)~2025 年 6 月 1 日(日)

場所:ヴェルニー公園、JR 横須賀駅、海上自衛隊横須賀地方総監部、

コースカ バイサイド ストアーズ

主催:横須賀市観光協会

<https://yokosuka-kanko.com/events/norimono-2025/>

●西武・電車フェスタ 2025 in 武蔵丘車両検修場

日時:2025 年 6 月 7 日(土)10:30~15:30

場所:武蔵丘車両検修場

主催:西武鉄道(株)

<https://www.seiburailway.jp/sightseeing/eventcampaigninfo/musashigaokafesta2025/>

●グリーン経営認証取得講習会(トラック・バス・タクシー事業者)

日時:2025 年 6 月 19 日(木)13:30~15:30(受付:13:00)

場所:一般社団法人京都府トラック協会研修センター研究室(3 階)

主催:国土交通省近畿運輸局、(公財)エコモ財団

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000350096.pdf>

4. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecommo.or.jp(担当:岡本)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>